

組合だより

第209号

2017年

3月7日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

目次： 1～2：団体交渉報告 2：要求書提出 3～4：要望書への回答と再要望書提出
5：全大教単組代表者会議報告 6：寄稿文 7：旅日記 8：単組だより・お知らせ



2/21 有期雇用職員の最大雇用期限 5 年に関する団体交渉報告 有期雇用職員 6 名も団体交渉に参加



2017年2月21日(火)10:00～11:45、本部棟6階会議室にて継続審議となっていた有期雇用職員の最大雇用期限5年に関する団体交渉を行いました。法人からは阿部企画担当理事、松原総務・企画部長、朝國人事課長、原田統括主査、高杉統括主査、岡田主査、塩田主査、三村主査、組合からは高橋委員長、笹倉書記長、中富副委員長、藤原副委員長、長岡副委員長、岡本書記他6名の有期雇用職員の方が出席しました。

「担当理事と事務で検討中」「3月末までに大学の方針を決定」との回答



昨年12月22日の団体交渉では「問題の重要性を認識し、情報を収集している」という回答に終始した法人ですが、今回は「現在担当理事と事務で対応を検討中」「3月末までには役員会で議論して大学の方針を決定する

予定」と回答しました。「検討中」との回答を得られたことは大きな成果だと考えています。ただ、検討の結果がどうなるかは依然として不明です。今後も引き続き組合から働きかけていく必要があると考えています。

平成29年度の雇用契約に「契約更新なし」と書かれていても気にしないで！

大学の方針が3月末までに決まらなるとすれば、平成29年度の有期雇用職員の雇用契約はどうなるのでしょうか。特に2018年3月に雇用期間5年を迎える有期雇用職員のみなさんの雇用契約書の契約更新の欄に「更新なし」と書かれてしまっていた場合どうしたらいいのでしょうか。

この点について2月21日の団体交渉で確認しました。結論から言うと、仮に「更新なし」と言う雇用契約を結んでいても、その後大学の方針が変わって雇用の継続が可能になった場合は、契約更新される可能性があるとのこと。大学の方針として5年を越えて雇用することが可能になった場合、雇用契約書が「契約更新なし」となってもそのみを理由に契約が更新されないと

ということはないと大学側は回答しました。ですので、「契約更新なし」と書かれていても安心してサインをしていただいで大丈夫です。

ただし、大学の方針として5年を越えて雇用することが可能になるかどうかはまだわかりませんし、もしそれが可能になったとしても、現在の有期雇用職員が全員継続雇用されるという保証はありません。残念ながら、有期雇用職員という職が相変わらず不安定なものであるということに変わりないというのが現状です。



組合にみなさんの声と力を！

一人一人ではなかなか声を上げにくいものです。でもみんなが集まれば力になります。そのために組合があるのです。



今回団体交渉に6名もの有期雇用職員の参加があったことは大きな力になりました。みなさんも是非組合に加入し、直接大学に声を届けましょう！

3/1 有期雇用職員の最大雇用期限 5 年に関する要求書 (その3)を提出

有期雇用職員の最大雇用期限 5 年に関する要求書(その3)

有期雇用職員の最大雇用期限 5 年に関して 2017 年 2 月 21 日の団体交渉で岡山大学は「事務系職員について担当理事と事務で検討中」「2017 年 3 月末までに役員会で議論し大学としての方針を明らかにする」と回答しました。

岡山大学職員組合としては、この問題に関して岡山大学が労働者の意見も考慮し誠実に対応することを期待しています。そこで、以下の項目について団体交渉を要求します。

1. この問題に関して担当理事が役員会に提案した内容とそこで行われた議論の概要を明らかにすること。
2. もし 2017 年 3 月 21 日までに役員会でこの問題についての議論が行われなかった場合その理由と今後の方針を明らかにすること。

以上

文科省からの通知文、他大学の状況など

厚生労働省からの要請を受けて、文科省の人事課が 2016 年 12 月に各国立大学法人等の人事担当部署宛に「事務連絡」を出していたことが明らかになりました。

その事務連絡の内容は、(1) 無期転換ルールへの対応方針の早急な検討 (2017 年 4 月までに労働者に明示)、(2) 検討内容・状況の文科省への報告、(3) 通算 5 年到来前の雇い止めは「個々の事案ごとに大学法人等に説明責任が生じる」ので「必要性を十分慎重に検討の上対応」すること、というものだったそうです。

徳島大学では、すでに 2013 年の時点で非常勤職員の雇用期限は撤廃され、全員無期での契約となっています。他の中四国の多くの国立大学では、2013 年 4 月よりも前から大学に勤務している非常勤職員には雇用期限はつけられていないと聞いています。東北大学では大量の雇い止めを行うという発表が大きな社会問題として新聞などでも取り上げられ現在も組合と交渉中です。他にも多くの大学で一律に 5 年で雇い止めは行わないという方針が打ち出されています。岡山大学でもできるだけ多くの有期雇用職員が無期化されることを望みます。



3/1 扶養手当削減に関する要求書を提出しました



2016年10月7日の団体交渉において、明らかにすることを約束した以下の事項について3月31日までに回答を要求します。

1. 平成28年の扶養手当支給対象者のデータを基に、配偶者手当削減・父母の扶養手当削減・子ども扶養手当増額に伴い、以下のデータを明らかにすること。
 - i. 平成29年度、平成30年度、平成31年度の各年度について、職種別に支給額が増額になる者の影響見込者数と1年を通しての影響見込額の合計
 - ii. 平成29年度、平成30年度、平成31年度の各年度について、職種別に支給額が減額になる者の影響見込者数と1年を通しての影響見込額の合計
 - iii. 1,2の結果としての各年度の影響見込額の合計

1/23 学長選考における学内意向調査の結果公表に関する要望についての回答が届きました



平成29年1月23日

岡山大学職員組合
執行委員長 高橋裕一郎 殿

国立大学法人岡山大学学長選考会議
議長 泉 史 博

学長選考における学内意向調査の結果公表に関する要望について（回答）

2017年1月11日付け岡大職組申第95号で要望のありました意向調査の結果公表について、次のとおり回答します。

平成27年4月の国立大学法人法改正に伴い、今回の学長選考から、学長選考会議が学長選考基準を明示したうえで、より主体的に選考を行うこととなりました。

このことに対応する趣旨で、学長選考基準を定め、選考方針、選考手続及び日程と合わせ公表し、学長選考会議が、書類審査及び公開ヒアリングをとおして、学長候補者の学長としての資質と能力を、同基準に照らして判断することとしました。

それに併せて、意向調査においても投票から、調査に変更するなど学長選考方法を改訂したところです。

また、公開ヒアリング実施に先立ち、パブリックコメントにより学長候補者への質問内容を求めるなど、選考過程の可視化にも努めて参りました。

そのような状況の下、学内構成員による意向調査の結果をそのまま公表すると、あたかもそれが選考に直結するような誤解を生み、無用の混乱を招く恐れがあるため、あくまでも学長選考会議による選考過程の参考として扱うこととしました。

このようなことから、その結果の公表につきましては、平成28年11月21日の学長適任者決定の公示において、選考理由の中でその旨を説明した次第であります。

以上により、今般、ご要望のありました学内意向調査の結果（各学長候補適格者の得票数など）の公表は差し控えさせていただきたく存じます。

以上

組合は、この回答を受けて、次のページの要望書を再度提出しました。

3/6 学内意向調査の結果を含めた次期学長選考理由公表についての要望書を提出しました



2017年1月11日付け岡大職組申第95号に対する回答をありがとうございました。しかし、その回答内容に納得しかねる部分がありますので、再度要望させていただきます。

回答の中で「学内構成員による意向調査の結果をそのまま公表すると、あたかもそれが選考に直結するような誤解を生み、無用の混乱を招く恐れがあるため」「学内意向調査の結果（各学長候補適格者の得票数など）を公表しない」とありますが、学長選考理由を丁寧に説明すればその心配はないと考えます。もし無用の混乱を招くとすれば、それはそもそも今回公表された学長選考の理由の説明が簡潔すぎるからではないでしょうか。

今回、国立大学法人法改正に伴い学長選考の方法が従来から変更になった際、新しい学長選考方法についての説明会が2015年10月に行われました。10月28日に行われた津島地区説明会において当時の学長選考会議学長選考方法検討WG議長は次のように説明したということが参加者のメモから明らかになっています。

質問：意向調査の結果は公表するのか？

回答：公表するが、具体的にどこまで公表するかはこれから議論。×をつけられた数などは公表しないと思う。

質問：最終的な学長選考結果の公表ではどこまで理由等が公表されるのか？

回答：選考過程の透明化がこの新案のコンセプトなので現在のものより理由が詳しくなるのではないかと考えている。

それに対し、実際に今回の選考過程と選考理由の説明は2016年11月21日付山陽新聞ウェブサイトでは以下のようになっています。

『初めて導入した学内向け公開ヒアリング、講師・課長級以上の教職員を対象とする意向調査結果などを踏まえ、賛成多数で榎野氏を選んだ。』

『津島キャンパス（岡山市北区津島中）で会見した選考会議の泉史博議長（中国銀行相談役）は「十分な実績を持っており、大学のさらなる発展が期待できる」と選考理由を述べた。』

前回の学長選考過程と理由の説明は2011年12月1日付山陽新聞朝刊によると以下のようでした。

『教職員らによる学内意向投票の結果を参考に、森田氏を全会一致で学長適任者に選んだ。』

『選考理由について本田茂伸学長選考会議議長は「教育、研究のみならず大学病院長としても優れた実績を挙げてきた。岡山大をさらに力強く飛躍させてもらえると判断した」と述べた。』

この二つを読み比べて今回の選考理由説明の方が詳しいとは到底思えません。また前回は意向投票の結果も合わせて公表されましたが、それによる誤解も混乱も特になかったと記憶しております。

国立大学法人法の改正により、学長選考会議の権限と責任はこれまでより大きくなりました。学長選考会議は、学長選考方法変更の趣旨に則り、意向調査の結果も含めて学長選考の理由の詳細を明らかにする責務があると考えます。他の候補者（阿部氏、荒木氏、山本氏）ではなく榎野氏を次期学長に選ぶにいたった議論の概要と最終的な選考理由の詳細を明らかにすることが学長選考会議の主体性を示すことであり、またそれなしにして学長選考会議の主体性を示すことはできないと考えます。

次期学長を選考した際の議論の内容と詳細な選考理由を、意向調査の結果も含めて公表することを求めます。

以上

全大教 合同地区別単組代表者会議報告

2月11～12日、小倉商工会館において、全大教合同単組代表者会議が開催されました。中国四国地区と九州地区の14単組と全大教中央執行部などから22名の参加がありました。

1日目は組合組織の拡大・強化と賃金・労働条件の改善について、2日目は大学・高等教育の充実と平和・民主主義・人権について報告・交流・討論が行われました。いくつか、気にとまった話題を紹介いたします。



1. 組合組織の拡大・強化

山口大学教職員組合は、最大時1,000名近くいた組合員が長期低落傾向で200名を割るところまで落ち込みましたが、昨年4月、70名以上の新入看護師が加入し、組合員数が一気に4割増となり財政事情も好転しました。新採用者オリエンテーションの昼休みを利用した30分程度の組合紹介の成果で、さらにチェックオフ協定の導入が加入後の退会を抑制しました。パワハラや雇止めなどの問題を抱えている人を適切にフォローすれば加入者は増えるとのことでした。

大分大学教職員組合では、近隣のコーヒーショップ経営者の協力で昼休みにカフェを開催しています。人集め効果は高いが、なかなか組合加入につながらないのが悩みとのことでした。

組織体制維持の一例として、岡山大学職員組合の連合体方式と複数副委員長体制を紹介しました。

2. 賃金・労働条件の改善

有期雇用教職員の無期転換促進に関する話題で、徳島大学の無期転換の経緯について紹介がありました。徳島大学では、2013年4月に有期雇用職員の無期転換が実現しています。当時の組合活動で正規雇用職員も含めたアンケート調査を実施し、「有期雇用は不都合である」との回答が正規雇用職員でも80%に達しました。有期雇用の無期化は正規職員にもメリットであるこ



とがデータでも示され、無期転換への大きな後押しになったとのこと。

3. 大学・高等教育の充実

現在、話題になっている天下り問題が話題に上がり、全大教でも何かしらの取り組みが必要という意見がありました。

福岡教育大学教職員組合からは、大学に複数の文科省官僚が出向してきており、出向者の地域手当が大学の負担になっている、また、前学長が退職時に退職金を1割増しにし、その後、副学長の職について、現在も大学の運営に影響を与えているとの報告がありました。

高知大学は、財政難のため2年間、採用・昇任人事を凍結します。大学は6年間を希望しましたが、話し合いで2年間になったとのこと。

その他の大学でも、運営費に大きな赤字がでているとの報告が多数ありました。



4. 平和・民主主義・人権

式典などでの国旗掲揚、国歌斉唱について、各大学の現状が報告されました。国旗掲揚はあり、国歌斉唱はなしという大学が多かったですが、昨年からは国歌斉唱が導入された大学がいくつかありました。

軍学共同研究について、具体的な活動を行っている組合は少ないようでしたが、宮崎大学教職員組合は軍学共同研究推進に反対するよう大学に申し入れを行ったとのこと。

鹿児島大学教職員組合では、1年前に池内氏を招いて講演会を行いました。また、学内で自衛隊のリクルートが大々的に行われており、自衛隊関連事業に対するスタンスを大学に質問したとのこと。

岡山大学職員組合では、学長選の際、候補者に対して行ったアンケートに軍学共同に関する質問事項を入れたことを紹介しました。

(副委員長 藤原貴生)

無料法律相談『ユニオン』をご利用ください

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：藤井和佐 文学部教授 内線8451

寄稿文 「岡山マラソン完走記」

文学部 田中 秀和

去る11月13日の日曜日、第二回岡山マラソンを走りました。私にとっては前年の第一回大会、旧年中の三月の鳥取マラソンと合わせて三度目のフルマラソンです。組合の皆様の健康増進にもつながればと思い、完走記を書かせていただきます。

当日は天候にも恵まれ、「三時間半切り」を目標に「30キロ地点までは疲れなように」と念仏のように心の中で繰り返しながら、スタートラインに整列しました。5キロくらいで一度、トイレに寄って出てくると、三時間半のペースランナーを見つけたので、ついていくことにしました。この集団は三時間半のペース（1キロを4分58秒）よりも明らかに早く進んでいました。辻褄を合わせるように、時折、ペースが落ちる。25キロくらいまでは一緒にいましたが、終盤に振り切られるとついていけない、という恐れから思い切ってペースランナーの前を走り出しました（これは失敗でした）。



フルマラソンは食べるスポーツです。エネルギーを補給しながらでないと走れません。給食で煎餅を取りすぎて、隣のランナーさんに貰って頂きました。海塩きびだんごも沢山とってしまい、これは素手で触ったものを差し上げるのも失礼かと自分でモゴモゴしながら食べました。千両茄子の浅漬は受け取り損ねて食べられず、30キロすぎのラーメンはタイムの都合上、横目で見ながらスルー。

岡南大橋を渡り旭川の東側を北上する30キロ以降は、脚の痛みとの戦いです。ペースが落ちて、後に残してきたはずの三時間半のペースランナーに抜かれてしまいました。38キロくらいまでは喰らい付いていたのですが、どうしても脚が前に出て行かなくなりました。

私事ですが、老いた母が後樂園の近くのホームに入居しています。その日はホームの皆様と40キロ地点手前まで出てきて応援してくれました。沿道に見つけた母に「あと少し頑張るから」と声を掛け、最後の力をもらいました。少しだけペースアップ。

手元のGPS時計ではギリギリ三時間半でゴールだと思っていたのですが、トイレに寄っていたりする時間は勝手に計測をやめるオートストップ機能を完全に忘れていて、苦虫を噛んだみたいな顔でスタジアムに入った時、1分程間に合わないことに気づきました。急に力が抜けてしまい、結局、3:31:28というあからさまな目標達成失敗タイムでゴールしました。

ゴール後、沢山のボランティアの方々、沿道で声援を頂いた方々、怪我なく走らせてくれたコースに感謝し、振り返って帽子をとって一礼。二つ目の備前焼メダルとFINISHERのタオルを貰いました。

スタート地点での緊張感、レースのワクワク感、21キロ地点で「まだ半分」という気が遠くなる感じ、痛む脚を前に出していく30キロ以降の苦しさ、スタジアムに入って、ゴールした時の「もう走らなくていい」という安堵感、達成感、何もかもがマラソンの魅力だと思います。

帰宅してシャワーを浴び、メダル、タオル、記録証を持って母に会いに行きました。メダルとタオルを母にかけ、ホームの方に写真をとって頂きました。目標達成ならずでしたが、自分が頑張っている姿を母に見せられたことと、母がメダルにすごく喜んでくれたことは嬉しい出来事でした。



毎度のことですが「こんな苦しいこと二度とやらない」と思いながら最後の10キロを走っています。それでも「喉元過ぎれば熱さ忘れる」というやつで二日後くらいには次に何を走るか考え出します。抽選で当たる限り、おかやまマラソンを走り続けたいと思います。

幸いにも津島キャンパスの近くには運動公園もあり、練習するには恵まれている環境だと思っています。そんな長い距離走れない、と思うのが普通です。私もそうでした。けど、ちゃんとした練習をすれば走れるようになります。岡大赴任時にはメタボ診断をくらった私もランで体重を20キロ落とし、再び目標に向けて走っています。岡大の教職員の方達にも幾人かラン仲間がいます。いつか岡大教職員チームでトマト銀行6時間リレーマラソンに出られるくらい、ラン仲間が増えるといいなと考えています。

ローカル線で行く！フーテン旅行記

第41回 沖縄本島 路線バス紀行 後編

工学部単組 大西 孝

沖縄本島の路線バス紀行、前編と中編では沖縄本島の中部から北部を巡りましたが、最終回の後編は那覇から南部の戦跡を巡る旅です。沖縄戦の悲劇を実際にその場に行って学ぶ行程です。



旧海軍司令部壕のある小高い丘の上には慰霊碑が建っています。

南部の戦跡を巡るバス路線は沖縄本島の最南端にある糸満市から運行されています。しかし那覇から糸満に向かう途中で、立ち寄っておきたい戦跡があります。これは那覇市の南端、豊見城(とみぐすく)市との市境にある「旧海軍司令部壕」。1945年4月に沖縄本島の中部に上陸した米軍は、日本軍を沖縄本島の南部に追い詰めますが、那覇市の北東部の首里を守っていた日本海軍の部隊は南部へ撤退する途中にこの海軍司令部壕で孤立し、同年6月13日には司令官が自決し、残る陸軍は島の南の摩文仁(まぶに)で最期を迎えます。琉球新報によると、戦後の調査で壕内から2400体もの遺骨が集められたそうです。現在では自決に使った手りゅう弾の破片の跡が壁に残る幕僚室などが公開されており、壕の入口には慰霊碑が建てられています。多くの海軍軍人が最期を迎えた当時の様子が壕内に残されています。



慰霊と平和を願う千羽鶴が飾られたひめゆりの塔。塔の前に花を手向ける人も絶えることがありません。

糸満からは女子学徒隊の悲劇を伝える「ひめゆりの塔」、さらに沖縄戦の最後の激戦地となった「摩文仁の丘」を通り、鍾乳洞の玉泉洞(ぎょくせんどう)へ向かう路線バスに乗り換えます。今でも多くの方が花を手向けていくひめゆりの塔に隣接するひめゆり平和祈念資料館では、学徒隊で生き延びたおばあさんが語り部として当時の悲惨な様子を熱心に語ってくれました。目の前に陳列された遺品を紹介しながら、ご自身の知人や友人のものだと語られると、

胸に迫るものがあります。筆者はここでつい時間を忘れて語り部の話を聞いていたため、予定していたバスに乗り遅れ、次の目的地である摩文仁の丘の沖縄平和祈念資料館へはタクシーで向かうことになりました。バスには乗り遅れましたが、第二次世界大戦から70年以上を迎える今、当時の様子を直接聞くことができたというのは貴重な体験でした。



摩文仁の丘の沖縄平和祈念公園。左手に見える黒い石碑が「平和の礎」で、多数の碑が無言で並んでいます。

沖縄県立平和祈念資料館では戦時下や戦後の沖縄県民の生活、甚大な被害を詳しく学ぶことができます。資料館の横の沖縄県立平和祈念公園には沖縄戦で亡くなった人々の名前を刻んだ碑が並ぶ「平和の礎(いしじ)」があり、6月23日の沖縄県の「慰霊の日」には追悼式が行われることからご存じの方も多いかと思います。ずらりと並ぶ碑を前にすると、いかに多くの人命が失われたかを実感します。バス紀行の最後は、先の大戦の爪痕を学ぶ少し心の重い行程でしたが、戦争の悲惨さは現地で見ると、教科書やテレビなどで見る以上に伝わってくるものがあるように感じました。

戦跡を巡った後は「東洋一の景観」とされる玉泉洞で美しい鍾乳洞を眺め、那覇に戻ります。那覇までのバスは広大なサトウキビ畑の間を走り抜け、沖縄らしい路線でバス紀行を締めくくりました。



沖縄本島南部の戦跡を結ぶ路線バス。土曜日は1時間に1本の運転です。

3回にわたり路線バスによる沖縄本島1周記をお伝えしました。沖縄の旅行といえば、まず間違いなく貸切バスかレンタカーを使われることと思います。しかしながら、いつも旅行記でとりあげるローカル線の旅と同じく、地元の風が感じられる路線バスの旅もまた楽しいものです。いつもとは違う沖縄旅行をお考えの方にはお勧めです。

「お断り」第39回旅行記でご紹介した那覇バスターミナルは建て替えのため2018年3月末まで閉鎖されています。バス停は周辺に分散していますので、ご利用の際はご注意ください。

単組だより

理学部工学部共催新年会報告



2月1日に理学部単組の新年・ビール会を行いました。新規加入者の歓迎、そして退職される方へのねぎらいが趣旨です。その上に、初めての試みとして、工学部単組と合同で実施し17名の参加となりました。普段、近くてもなかなかゆっくり話せないメンバーと、身近なことから大学現場のことまで盛沢山に話すことができ、とても楽しく有意義なひと時となりました。また、工学部単組の予算計画と我々の物との違いに気づかず、あわてて(!)臨時総会を開催しました。

(理学部職員組合 池田 直)

理学部工学部共催新年会に参加して

理学部職員組合からお誘いをいただき、日ごろ飲み会をする機会のない工学部職員組合からも組合員3名で新年会に参加しました。場所は駅西口の「まつのき亭」。寒い時期にピッタリな鍋や豪華なステーキをいただきながら、理学部職員組合の皆さんと歓談しました。理学部職員組合のアウトホームな雰囲気を感じることができ、普段、あまり学部内で顔を合わせる機会が多くない工学部職員組合も何か(お金のかからない)レクリエーションができればなあと思感しました。最後になりましたが、新年会の参加費に多大な補助をいただきました理学部職員組合の皆様には厚く御礼申し上げます。

(工学部職員組合 大西孝)

団体交渉報告会のお知らせ



2月21日の「有期雇用職員の最大雇用期限5年に関する団体交渉」の報告会をします。

日時：3月16日(木) 12:10~12:50

場所：組合室 (一般教育棟 A 棟 1 階東端)
どうぞおいでください。

お問い合わせは、組合まで

mail : ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp (内戦 7168)

～ あなたも組合の仲間になりませんか？

有期雇用職員
の方の加入が
増えています。
もっと仲間を
増やしましょ

あなたの声を大学運営に、労働条件改善に反映させてみませんか？
私たちは、あなたの参加を期待しています。

主な活動：団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、
講演会、学習会の開催、レクリエーション活動、
コーラスサークルなど

教員の方も、事務職員の方も、技術職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。お近くの組合役員もしくは、組合事務所までご連絡ください。



岡山大学職員組合 加入申込書 (組合役員または、学内便にて組合事務所宛に提出してください)

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。

氏名： _____ 性別： 男・女 所属： _____

職種： _____ 連絡先(内線・Eメールなど) _____